

事務事業評価表（平成26年度）

事業コード	304	課コード	0402	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)																	
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	環境経済部・クリーンセンター									
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市												
	⑤事業期間	平成25年度 ~		⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.1人										
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	203,100千円 (うち人件費 930千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)							
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	一般廃棄物対策基本計画						
(2) 目的	施策目的・展開方向	原発事故による放射能汚染に対する市民の不安を解消し、誰もが安心してくらすよう、放射性物質汚染対処特別措置法に基づく第二次放射性物質除染計画に沿って、学校や保育園、幼稚園、公園などの子どもたちの利用する施設を中心に速やかな除染を実施するとともに、きめ細かい放射線量測定を行います。また、市・公園の樹木・街路樹・学校など公共施設や一般家庭・事業所から出される剪定枝木等をチップ化し、福島第一原発事故による影響で利用が図れなくなったチップを保管する。 ・自走式破砕機を大きなものに交換し、分別回収した草や落葉を破砕しチップ化し、保管する。 ・枝木チップを農地などで利活用出来なくなったため、チップストックヤードが満杯になったことから最終処分を委託する。			事業目的	公園の樹木・街路樹・学校など公共施設や一般家庭・事業所から出される剪定枝木等をチップ化し、福島第一原発事故による影響で利用が図れなくなったチップを一時保管するとともに、放射性物質濃度に配慮しつつ焼却してもなお保管しきれないチップを最終処分するものです。 福島第一原発事故により、農家や家庭菜園で利活用できなくなったため、分別回収している刈草等を剪定枝木とともにチップ化し、ストックヤードに一時保管する。 現在保管しているチップが満杯になることから放射能濃度の低いチップについては、焼却処理していく。 ・枝木チップをストックしきれなくなったことから最終処分の委託をし、チップヤードの延命化を図る。											
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	チップ化処理・一時保管量											
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	t	想定値	8,000						
当該(開始)年度	公共施設及び街路樹・事業所・一般家庭から排出された刈草等及び剪定枝木をチップ化し一時保管する。保管しきれなくなったチップの焼却、最終処分を行っていく。				直接	刈草等及び剪定枝木のチップ化処理・一時保管量		t	0	実績値	8,000						
3年後	同上				直接	刈草等及び剪定枝木のチップ化処理・一時保管量		t	0	0	8,000						
最終 (概ね5年後)	刈草等の放射能汚染が低くなると考えられることから、剪定枝木等をチップ化し、農家や家庭菜園で利活用できるようにする。刈草等は、可燃ごみとして焼却する。				直接	剪定枝木等のチップ化処理・一時保管量		t	0	0	1,700						
(7) 事業実施上の課題と対応	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度				
(8) 施行事項	実施内容	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	費用	金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)	
	内容	* 剪定枝木・雑草等収集運搬業務委託 34,575 * 剪定枝木・雑草等破砕処理業務委託 31,425 * 剪定枝木チップの最終処分費 54,338 * 環境施策協力金 1,500 * 枝木チップ積込用油圧ショベル賃借料 727		* 剪定枝木・雑草等収集運搬業務委託 49,469 * 剪定枝木・雑草等破砕処理業務委託 33,061 * 枝木チップ運搬処分業務委託 111,780 * ストックヤード管理委託 972 * 環境協力金 3,000 * ストックヤード整備工事 1,296 * 搬出重機リース料 2,592		* 剪定枝木・雑草等収集運搬業務委託 49,469 * 剪定枝木・雑草等破砕処理業務委託 33,061 * 枝木チップ運搬処分業務委託 111,780 * ストックヤード管理委託 972 * 環境協力金 3,000 * ストックヤード整備工事 1,296 * 搬出重機リース料 2,592		* 剪定枝木・雑草等収集運搬業務委託 49,469 * 剪定枝木・雑草等破砕処理業務委託 33,061 * 枝木チップ運搬処分業務委託 111,780 * ストックヤード管理委託 972 * 環境協力金 3,000 * ストックヤード整備工事 1,296 * 搬出重機リース料 2,592		* 剪定枝木・雑草等収集運搬業務委託 49,469 * 剪定枝木・雑草等破砕処理業務委託 33,061 * 枝木チップ運搬処分業務委託 111,780 * ストックヤード管理委託 972 * 環境協力金 3,000 * ストックヤード整備工事 1,296 * 搬出重機リース料 2,592		* 剪定枝木・雑草等収集運搬業務委託 49,469 * 剪定枝木・雑草等破砕処理業務委託 33,061 * 枝木チップ運搬処分業務委託 111,780 * ストックヤード管理委託 972 * 環境協力金 3,000 * ストックヤード整備工事 1,296 * 搬出重機リース料 2,592		* 剪定枝木・雑草等収集運搬業務委託 49,469 * 剪定枝木・雑草等破砕処理業務委託 33,061 * 枝木チップ運搬処分業務委託 111,780 * ストックヤード管理委託 972 * 環境協力金 3,000 * ストックヤード整備工事 1,296 * 搬出重機リース料 2,592		* 剪定枝木・雑草等収集運搬業務委託 49,469 * 剪定枝木・雑草等破砕処理業務委託 33,061 * 枝木チップ運搬処分業務委託 111,780 * ストックヤード管理委託 972 * 環境協力金 3,000 * ストックヤード整備工事 1,296 * 搬出重機リース料 2,592	
	予算(済)額	合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計	
	国庫支出金	補助率 0%		補助率 0%		補助率 0%		補助率 0%		補助率 0%		補助率 0%		補助率 0%		補助率 0%	
県支出金	補助率 0%		補助率 0%		補助率 0%		補助率 0%		補助率 0%		補助率 0%		補助率 0%		補助率 0%		
起債	充当率 0%		充当率 0%		充当率 0%		充当率 0%		充当率 0%		充当率 0%		充当率 0%		充当率 0%		
一般財源	122,565		202,170		202,170		202,170		202,170		202,170		202,170		202,170		
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他		□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他		□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他		□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他		□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他		□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他		□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他		
換算人数(人)	0.1		0.1		0.15		0.15		0.15		0.15		0.15		0.15		
正職員人件費	930		930		1,395		1,395		1,395		1,395		1,395		1,395		
嘱託職員報酬額	1,164		1,164		0		0		0		0		0		0		
臨時職員賃金額	0		0		0		0		0		0		0		0		
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	123,495		203,100		203,565		203,565		203,565		203,565		203,565		203,565		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	24.7千円/t		25.39千円/t														

2. 事業の評価 (DO+CHECK)												
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討			
	福島第一原発事故による放射能のため、チップ化された剪定枝木が土壌改良材・自家菜園・園芸・農家用基礎堆肥として利活用を図ることが出来なくなったため、保管しきれないチップの最終処分、チップの安定的な保管場所としてストックヤードの整備が必要不可欠である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要			
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要			
	○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他											
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容				工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ●⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>				市民が分別に協力することで、事業の実施ができる。					○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ○不要	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点				取組む内容				実施した具体的な内容	環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>				刈草等の焼却を自粛し、高濃度放射性廃棄物を作らない。					○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (t)	目標値 (b) (t)	目標値の妥当性のチェック				達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成				
	0	8,000	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である				実績値 (f) (t)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策				実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>				実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	<想定どおり削減できなかった原因>			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法				達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			
	3.94	t	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費				実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				